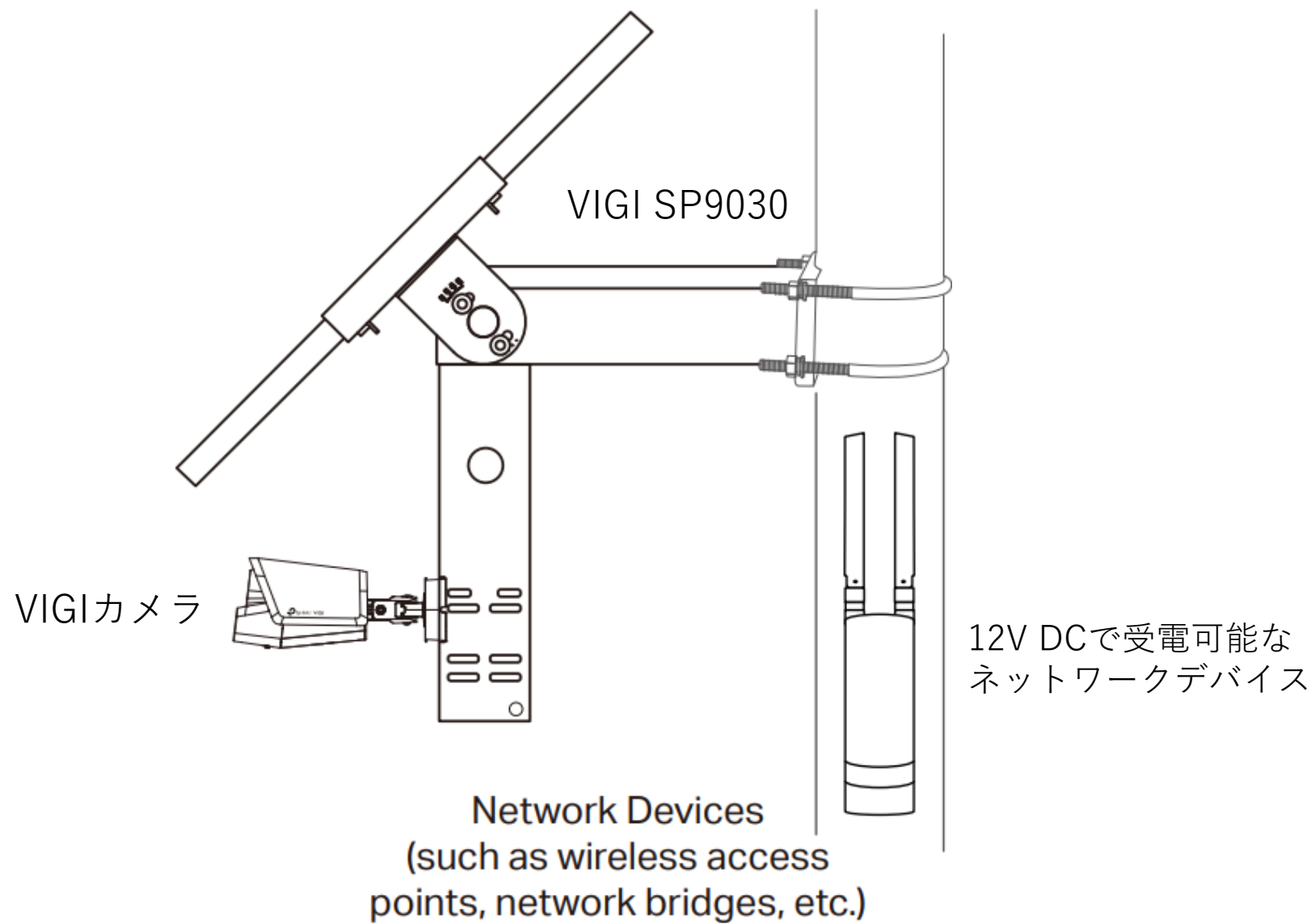


# tp-link VIGIソーラー給電システム簡易設置ガイド

2024年11月現在

## VIGIソーラー給電システムの典型的な構成



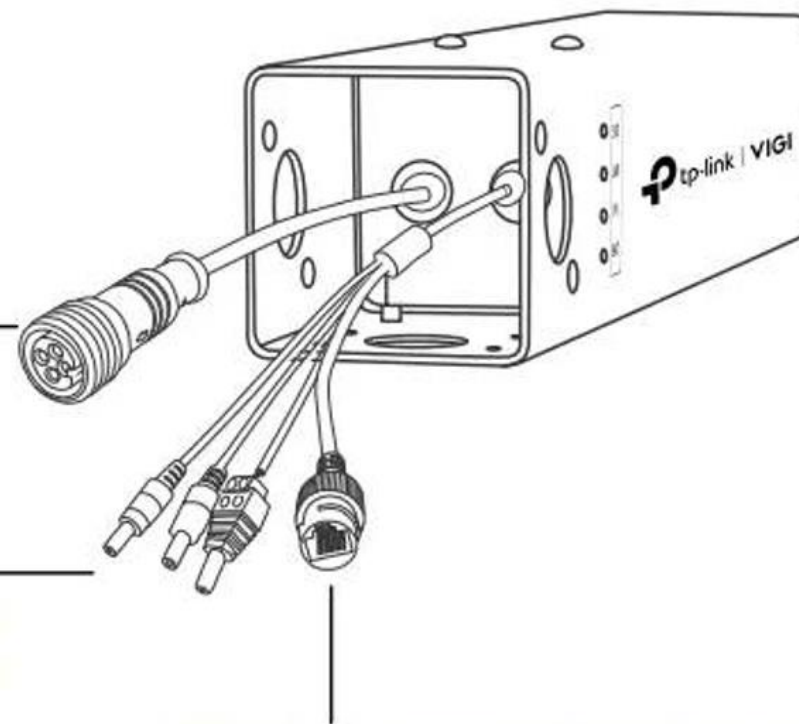
## VIGI SP9030のインターフェース



LEDランプ

太陽光パネル接続用の4ピンメスコネクター

給電負荷インターフェース  
インターフェース#1: 9-12.6VDC  
インターフェース#2: 9-12.6VDC  
インターフェース#3: 12VDC



RJ45ネットワークインターフェース  
(4Gルーターやブリッジなどのネットワーク  
機器と接続する可能)

インストレーション

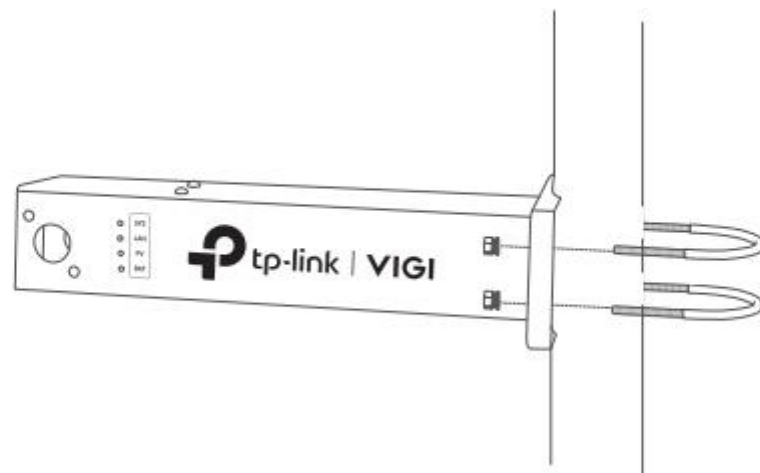
## ステップ1. 設置場所の選定

年間を通じて最も日照を受ける場所を選びます。北半球ではソーラーパネルを南に向けて設置し、南半球では北向きに設置します。

## ステップ2. 横架台の設置

U字型のネジを利用して、横架台を垂直ポールに固定します。

ヒント: 方位磁針やスマートフォンのコンパス機能を使用して方向を定め、ブラケットの向きを調整し、最大限の太陽エネルギーを受け取れるようにします。



### ステップ3. ソーラーパネルの設置

1. ソーラーパネルをマウントに確実に固定します。設置場所の緯度に基づき、適切な設置傾斜角を選定します。
2. ソーラーパネル固定用の専用ネジを使用して、ソーラーパネルを設置します。

推奨されるソーラーパネルの傾斜角（マウントの穴に対応）：

緯度範囲

0-5°

5-15°

15-25°

25-35°

35-45°

>45°

推奨傾斜角

5°

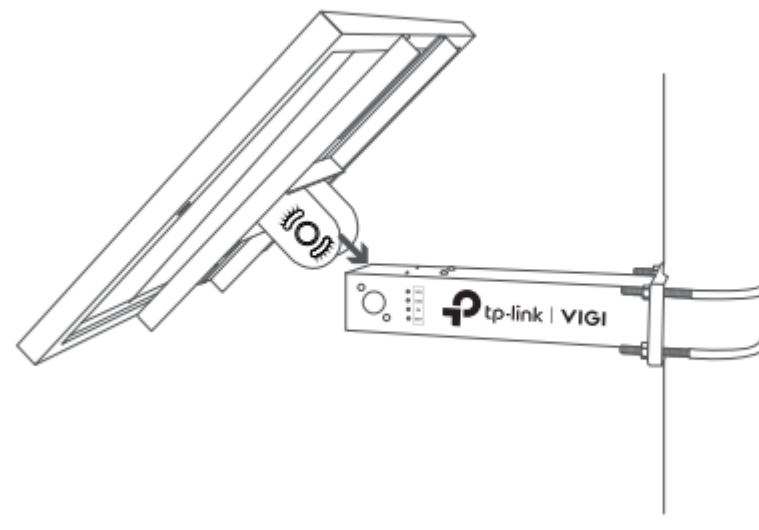
15°

25°

35°

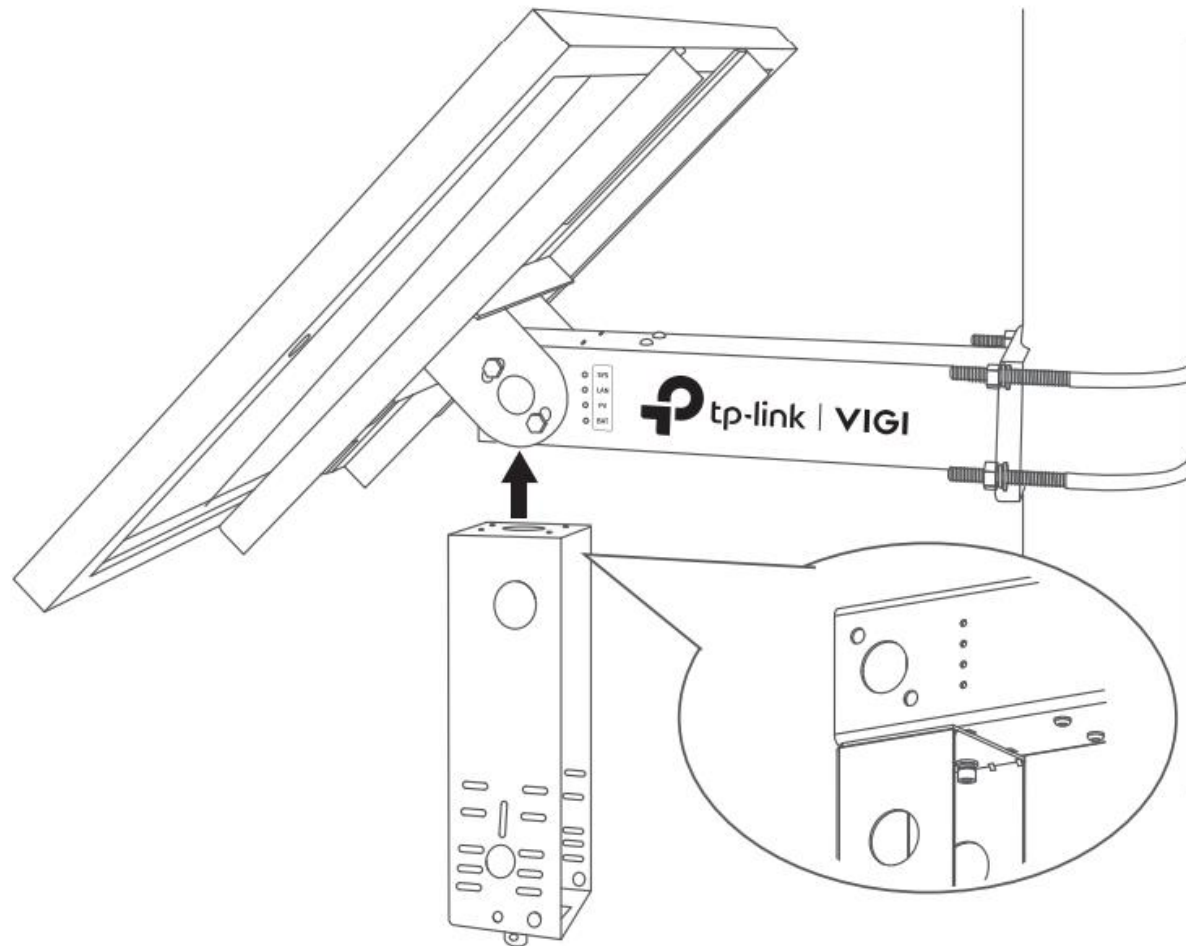
45°

55°

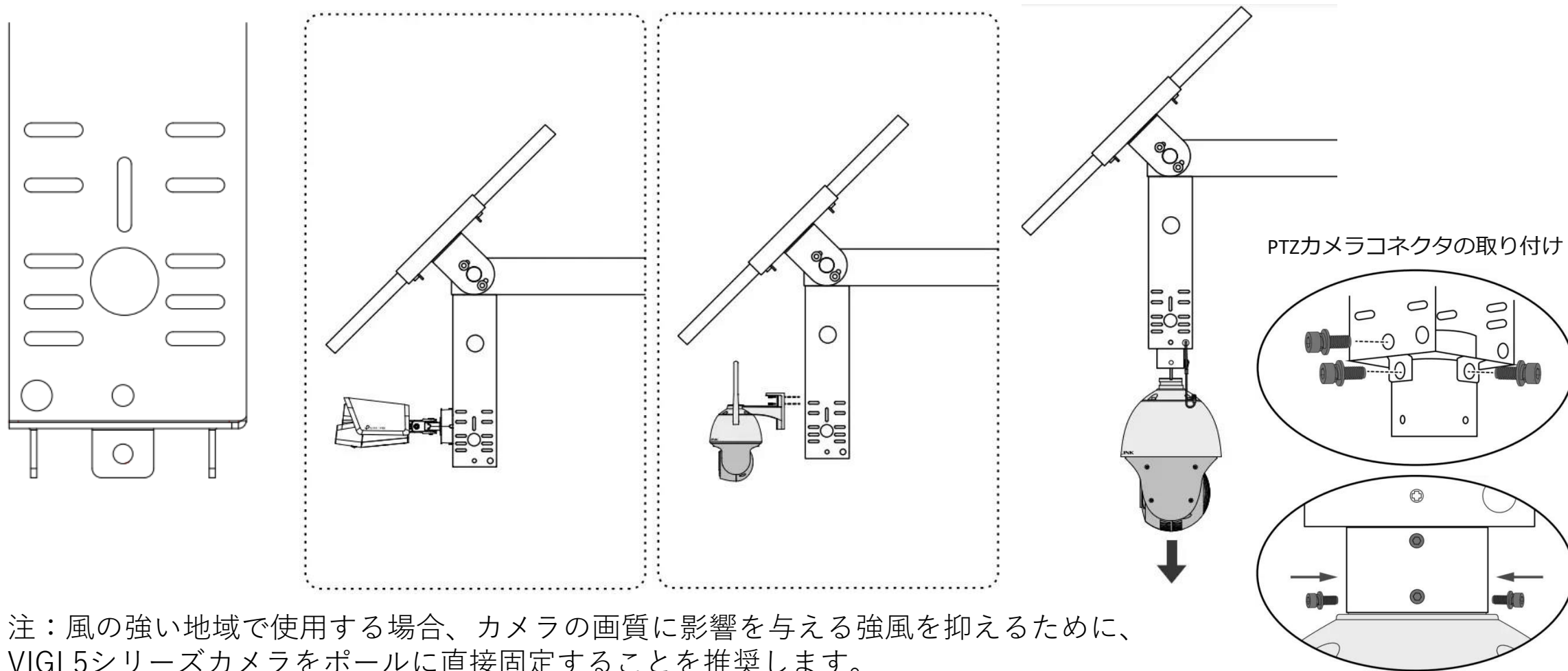


## ステップ4. 縦架台の設置

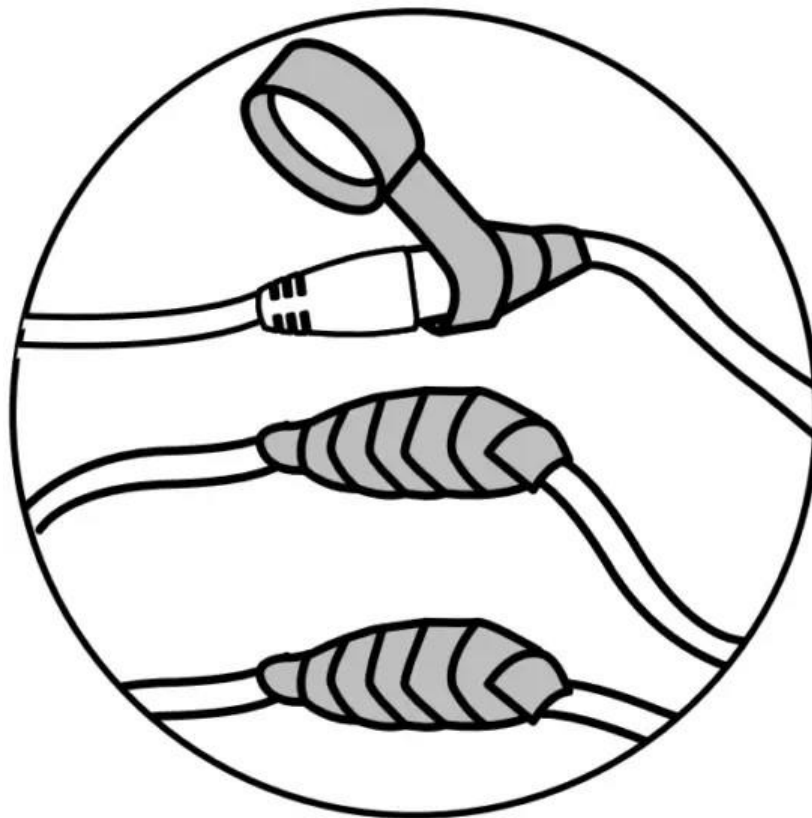
1. 縦架台を横架台にかけて固定します。



2. 機器の実際の状況に応じて、適切なブラケットを選択し、縦架台に機器を取り付けます。マウントのタイプによってアクセス方法が異なるため、この選択が重要です。縦架台の端部にある荷重用の取り付け穴の配置は以下の通りです：



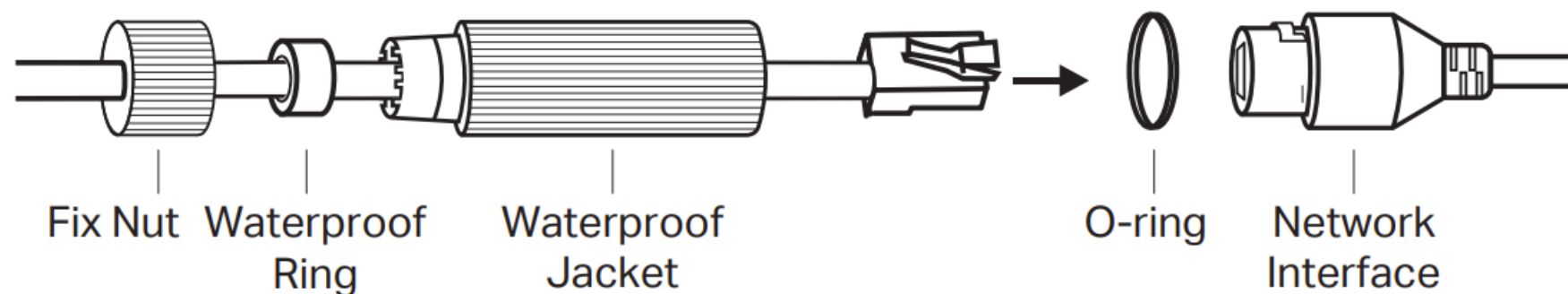
3. カメラを荷重インターフェースに接続した後、防水テープ（付属していません）を使用して接続部を2層以上覆います。



注：防水テープは、最初の層を巻き終えたらカットし、続いて二層目を巻き、接続部とテープの間に隙間がないように注意してください。これにより、接続部の防水性が確保されます。

## ステップ5. 防水ケーブルアタッチメントの設置

必要であれば、ネットワークインターフェース用の防水ケーブルアタッチメントを設置してください。



1. ネットワークケーブルを以下の部品を通して順に設置します：  
固定ナット（図のFix Nut）、防水リング（waterproof ring）、そして防水ジャケット（waterproof jacket）。
2. Oリングをソーラーパネルのネットワークインターフェースに固定し、ネットワークケーブルを繋げます。
3. 防水ジャケットを備えたネットワークインターフェースを設置後、回してロックします。
4. 防水リングを防水ジャケット内に挿入し、固定ナットを回してジャケットに確実に固定します。  
注：全ての部品がしっかりと取り付けられており、防水リングが平滑に配置されて水漏れを防ぐようにしてください。